

米国研究製薬工業協会様
プレスカンファレンス



世界トレンドと比較した 日本医療用医薬品市場の推移と展望

2021年10月28日

**IQVIA ジャパン ソート・リーダーシップ
マネジャー 高山 莉理子**



ご利用および著作権について

©2021 IQVIAおよびその関連会社。

本資料に掲載されている情報の複製、引用、抜粋、再掲載および加工、配布を行うことは禁じられています。

本資料には市場分析ないし将来展望に関する表現が含まれており、その妥当性については十分考慮いたしておりますが、展望が実現するということを保証するものではありません。

本資料の内容に関するお問い合わせは IQVIAソリューションズ ジャパン ソート・リーダーシップまでお問い合わせ下さい。 JP.ThoughtLeadership@iqvia.com



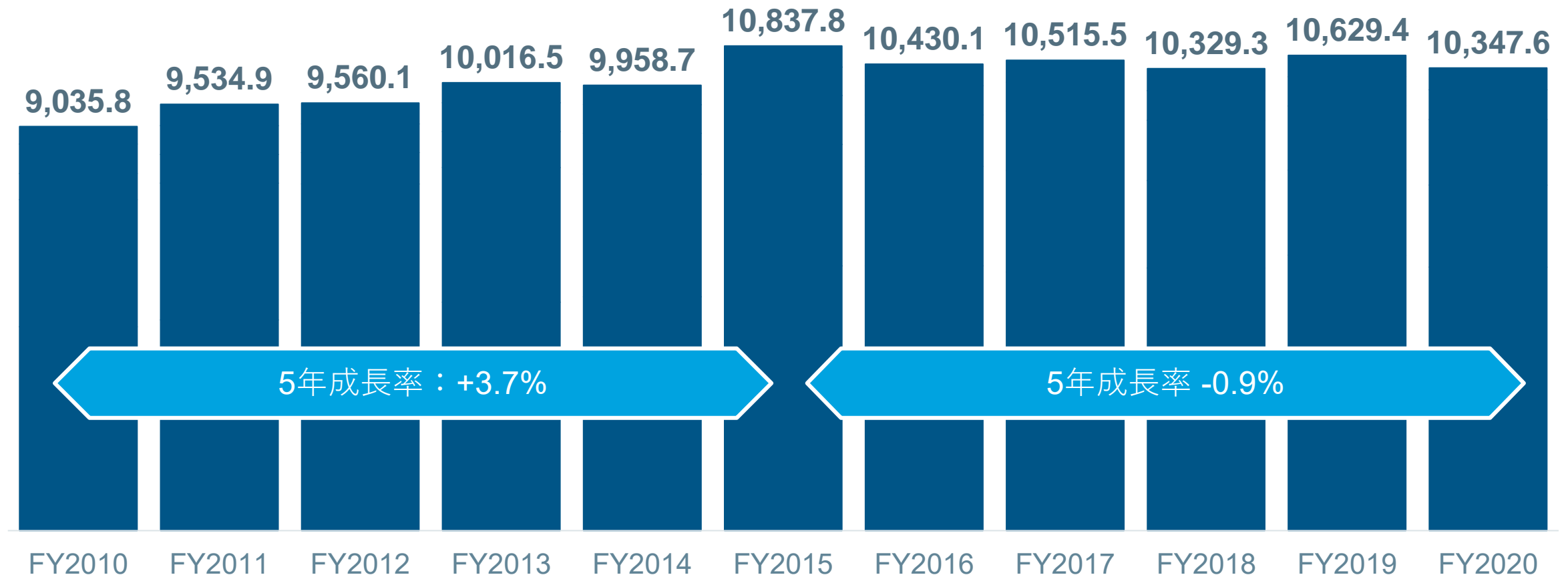
本日の内容

1. 日本の医療用医薬品市場の実績推移と展望
2. 世界の医療用医薬品市場の実績推移と展望
3. 世界における新薬開発環境



2010~2015年度は世界平均並みの年成長率+3.7%を示したが
2015~2020年度は -0.9%と2015年度をピークにマイナス成長に転じた

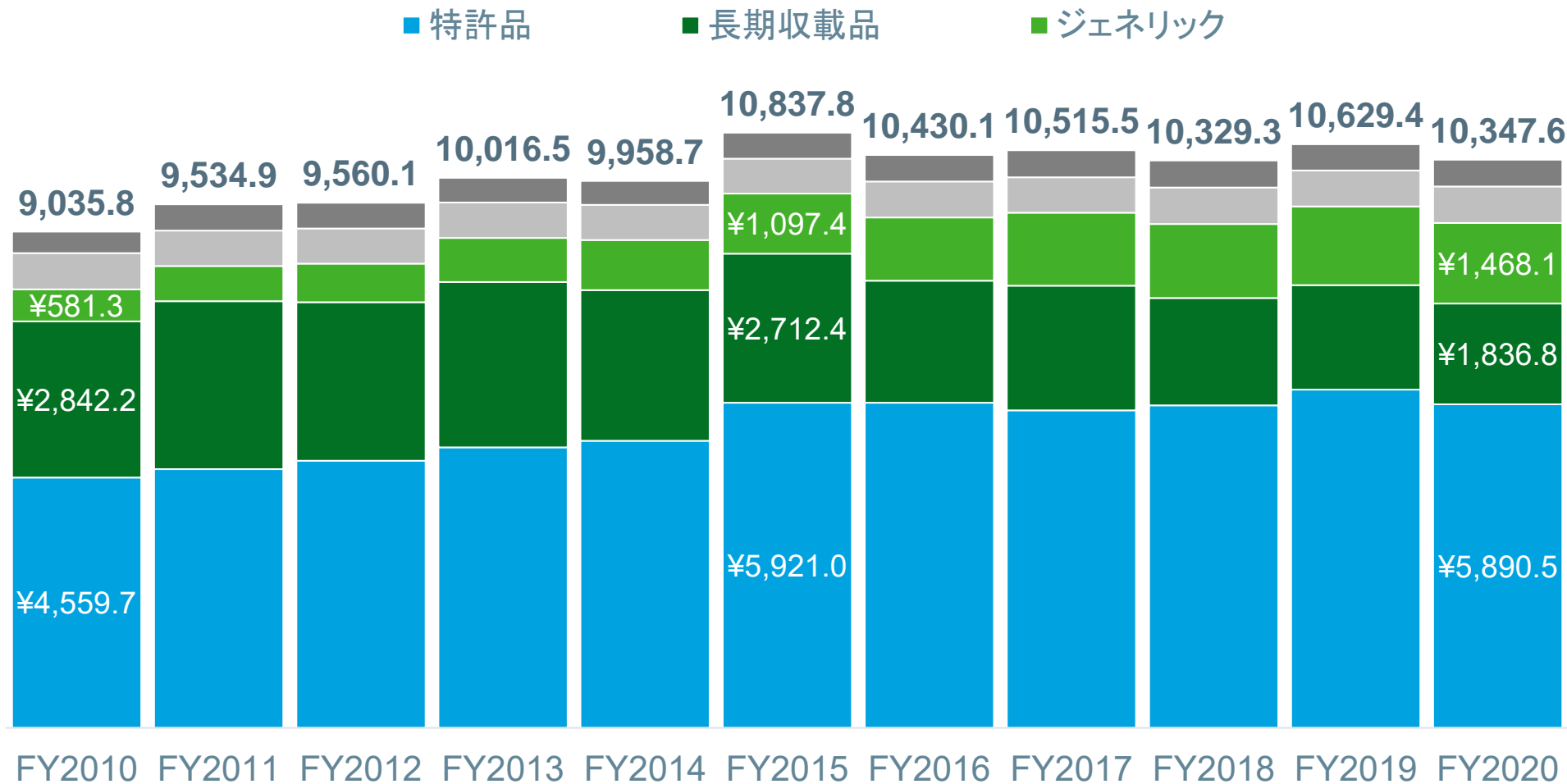
2010~2020年度 医療用医薬品市場推移 (10億円)





2015~2020年度の直近5年間はジェネリックシフトによる長期収載品の縮小に加えて、特許品の5年成長率もマイナスに転じた

2010~2020年度 医療用医薬品セグメント別推移 (10億円)



FY2010 ~FY2015 5年成長率
FY2015 ~FY2020 5年成長率

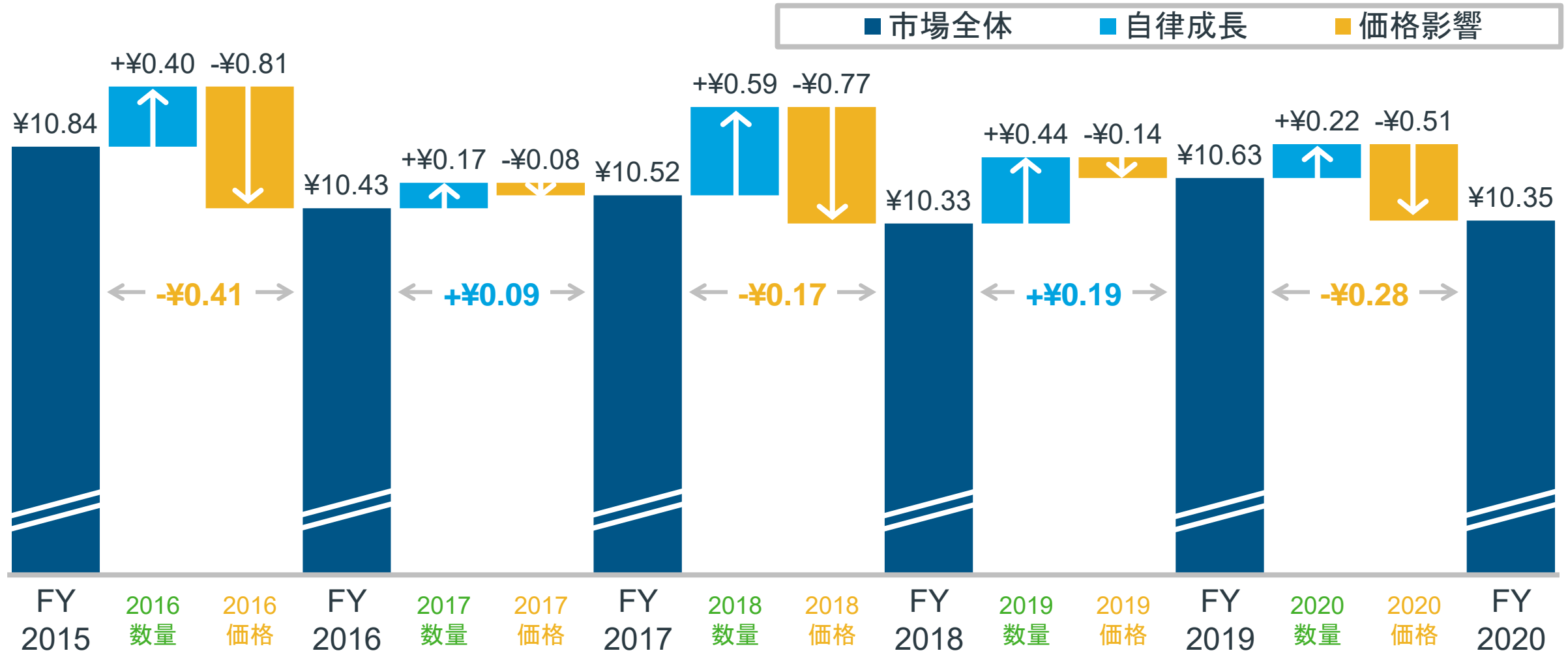
市場全体	
+3.7%	-0.9%
ジェネリック	
+13.6%	+6.0%
長期収載品	
-0.9%	-7.5%
特許品	
+5.4%	-0.1%

Source: IQVIA Solutions Japan. JPM 2021 March MAT
All Rights Reserved. Confidential and Proprietary.



直近5年の医薬品市場全体は、基礎的需要増による自律成長が続くも そのプラス成長分が薬価改定により相殺されている

成長要因別市場推移 (兆円)

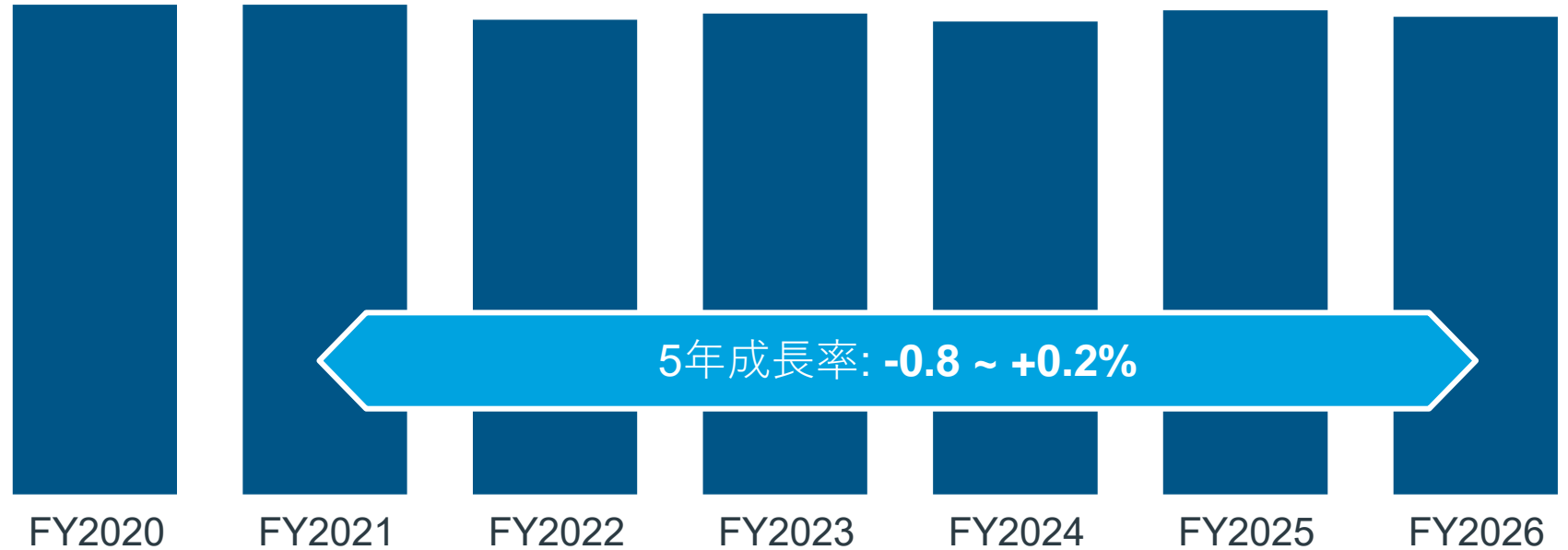


Source: IQVIA Solutions Japan. Japan Thought Leadership Team analysis. IMSBase JPM (Japan Pharmaceutical Market)
All Rights Reserved. Confidential and Proprietary.




2026年度までの国内医療用医薬品市場は10兆円台半ばで推移し、市場成長は横ばいのゼロ成長になる見通し

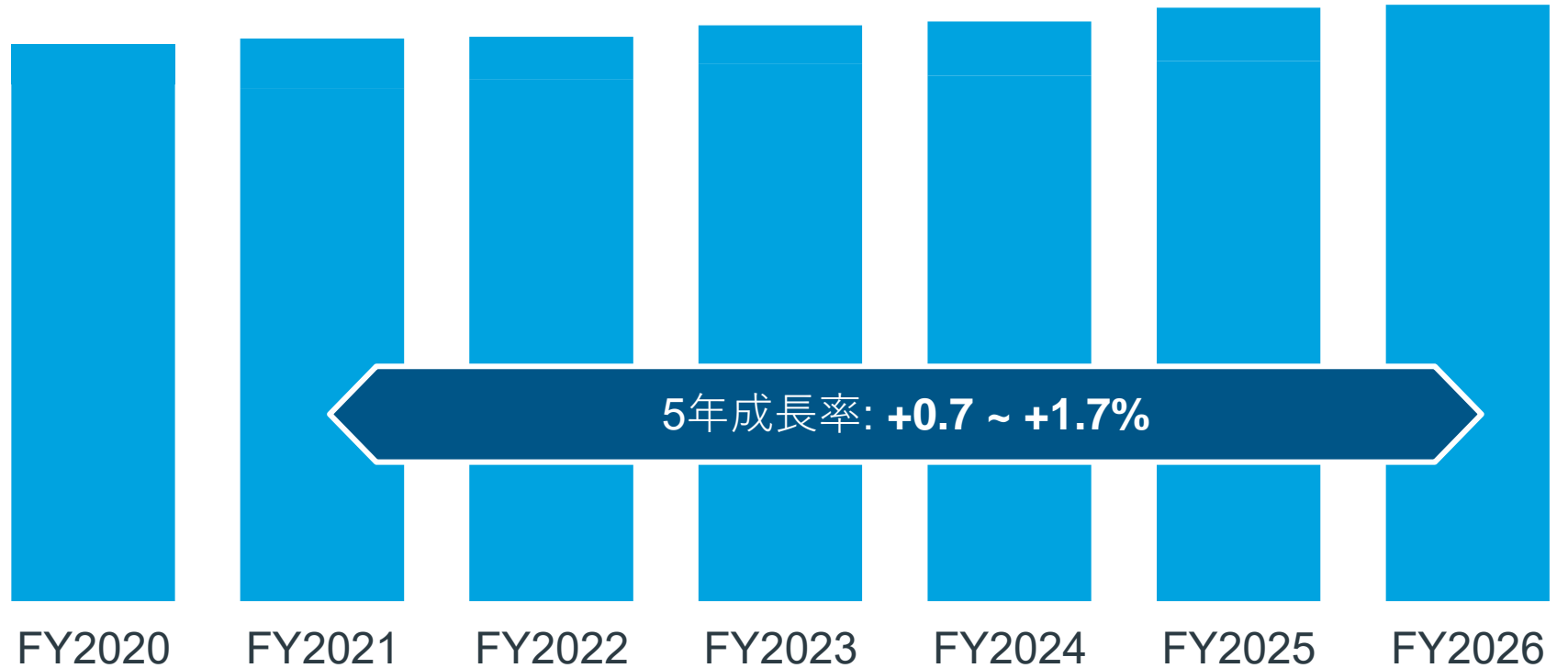
会計年度 支出および成長率推移 (COVID-19ワクチン支出を除く)



	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026
市場合計 (10億円)	10,625*	10,574 ~ 10,674	10,352 ~ 10,552	10,425 ~ 10,625	10,333 ~ 10,533	10,461 ~ 10,661	10,386 ~ 10,586
市場成長率	-2.7%	-0.5 ~ +0.5%	-2.1 ~ -1.1%	+0.2 ~ +1.2%	-1.4 ~ -0.4%	+0.7 ~ +1.7%	-1.2 ~ -0.2%


特許品市場は新薬上市が期待されるも、特許切れと毎年の薬価改定により成長が抑制され、2026年度までの年率成長率は+0.7~1.7%の見通し

特許品市場と特許切れ推計 (COVID-19ワクチン支出を除く)

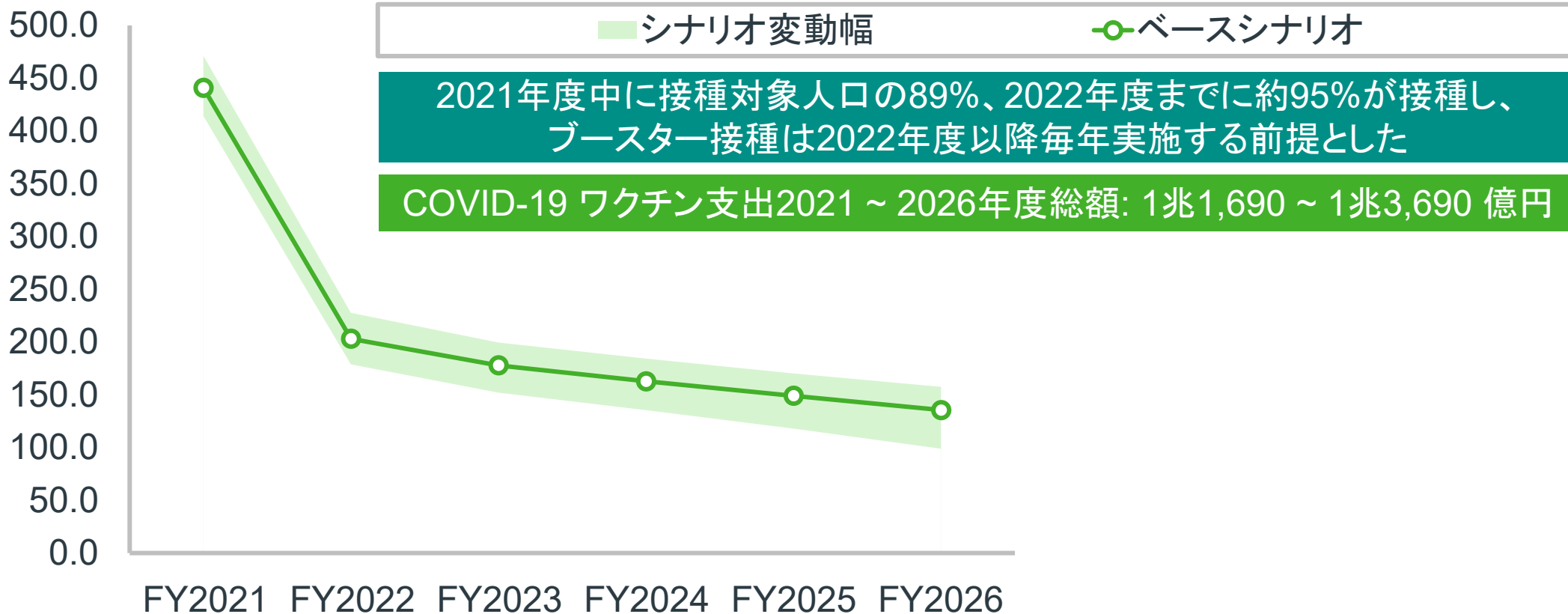


	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026
特許品 (含.新薬) (10億円)	6,132	6,151 ~ 6,251	6,170 ~ 6,270	6,296 ~ 6,396	6,341 ~ 6,441	6,493 ~ 6,593	6,525 ~ 6,625



COVID-19ワクチン支出は、ワクチン接種回数と費用を基に予測し、ブースター接種は毎年実施を前提とした

会計年度 COVID-19 ワクチン支出（10億円）



COVID-19 ワクチン支出 (10億円)	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026
シナリオ変動幅	414.2 ~ 471.2	178.9 ~ 227.6	152.0 ~ 199.4	135.5 ~ 184.3	118.1 ~ 170.1	98.9 ~ 157.5
ベースシナリオ	414.2	200.0	178.9	162.0	150.0	135.5

本日の内容

1. 日本の医療用医薬品市場の実績推移と展望
2. 世界の医療用医薬品市場の実績推移と展望
3. 世界における新薬開発環境



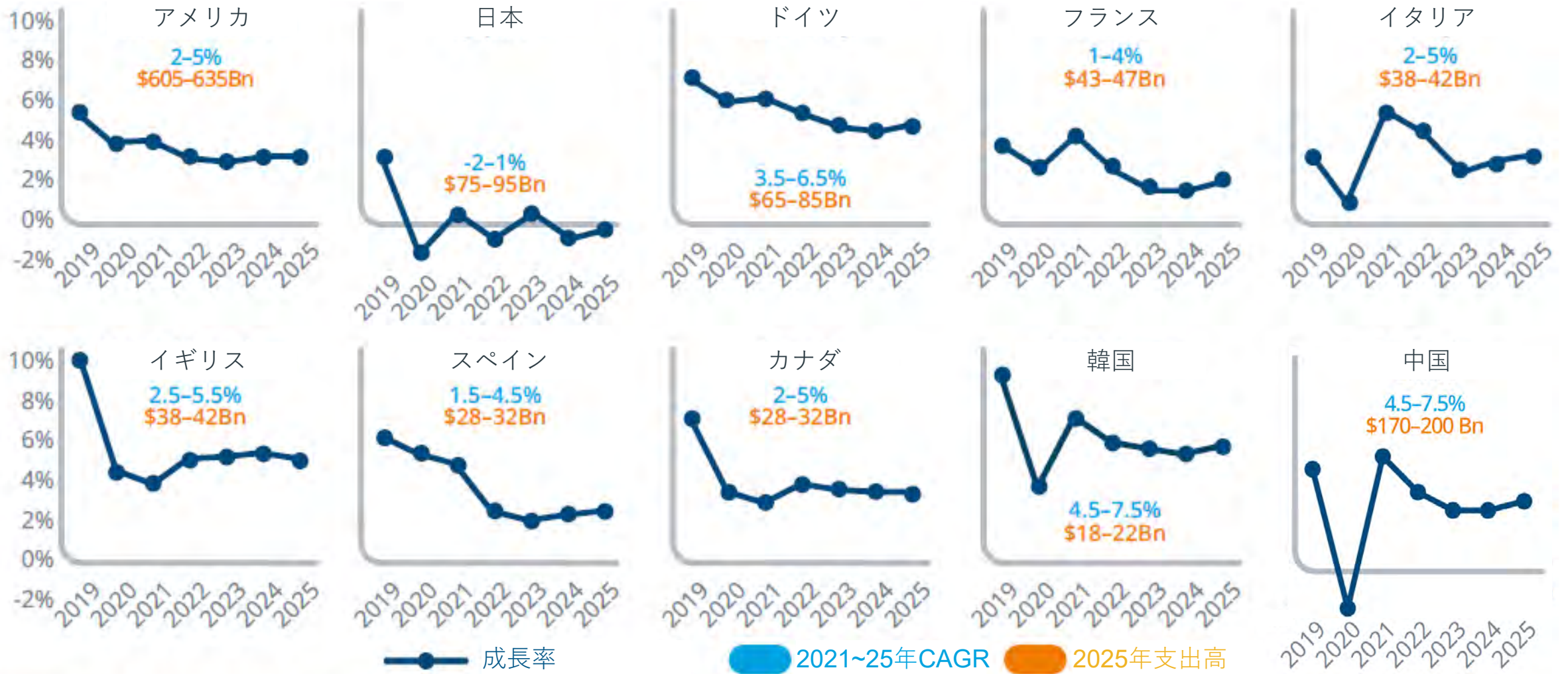
過去5年の世界市場の5年成長率は+4.6%と堅調なプラス成長を記録 今後5年も先進国と新興国の成長により+3~6%の年率成長が期待される

2010~2020年度世界市場実績推移と2025年までの展望（10億USDドル）



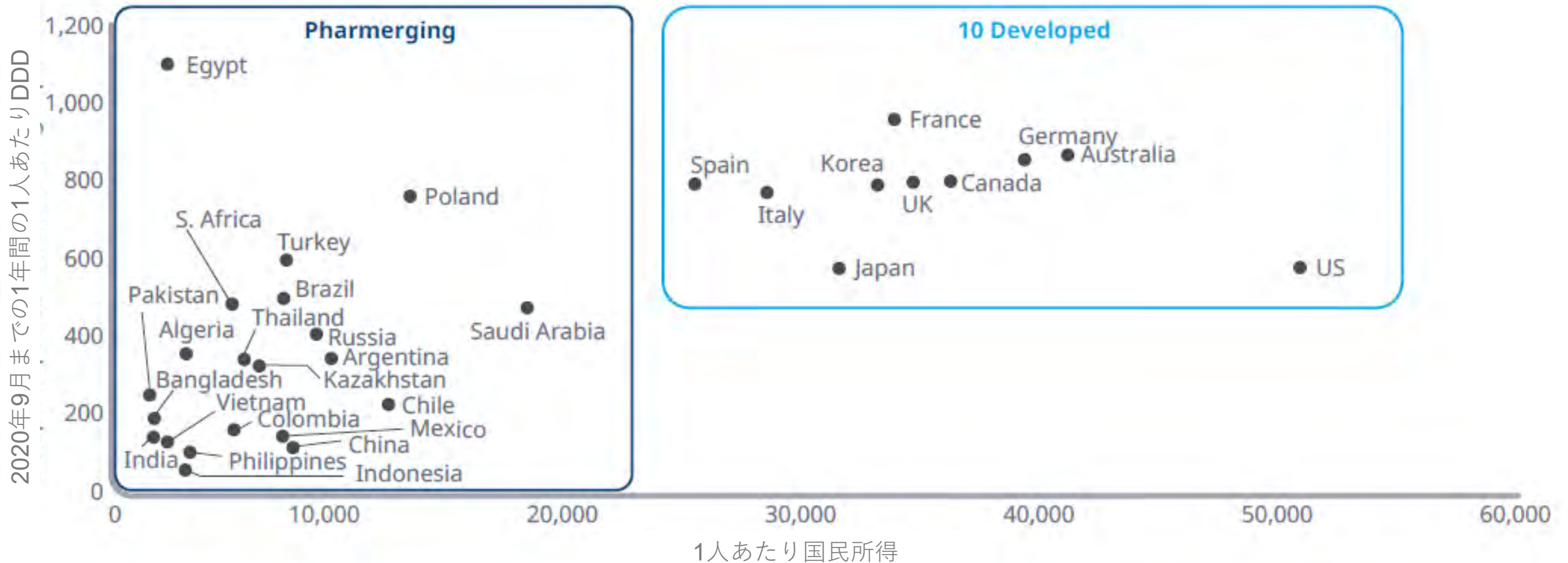
COVID-19による影響は各国により異なったが、2021年以降の市場成長率がマイナスになるのは主要国では日本のみ

2019~2025年 先進国10カ国における市場成長率予測（為替固定）




日本の1人あたり1日投与量は先進国10カ国内で最も低く、韓国の7~8割程度に留まっている

1人あたりDDD(1日投与量)と1人あたり国民所得



Source: IQVIA MIDAS, Sep 2020; IQVIA Institute, Jan 2021; The World Bank, Sep 2020; UN Statistics, Jan 2021



本日の内容

1. 日本の医療用医薬品市場の実績推移と展望
2. 世界の医療用医薬品市場の実績推移と展望
3. 世界における新薬開発環境

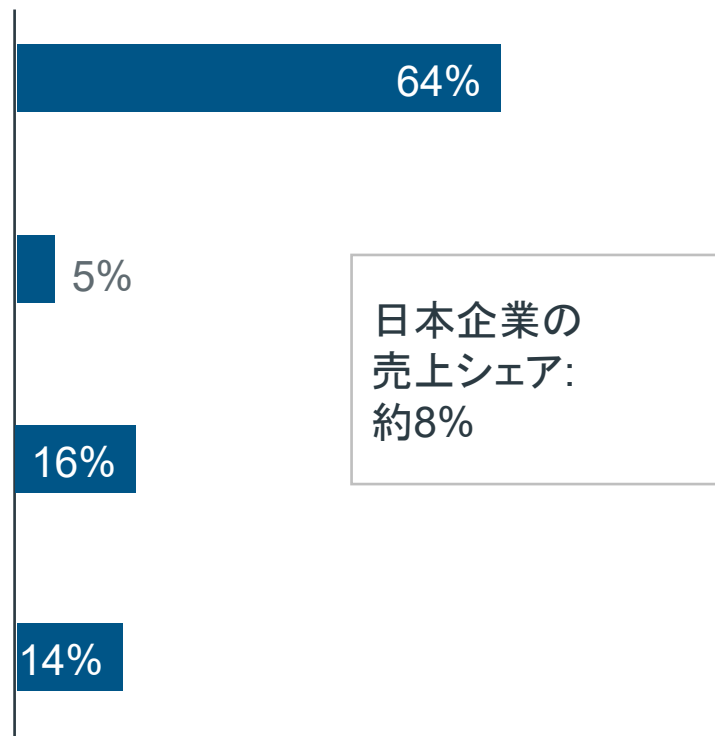


日本では、世界全体では重要な役割を持つ新興バイオフーマ層が薄く また今後の成長が期待される新モダリティ領域で後れをとっている

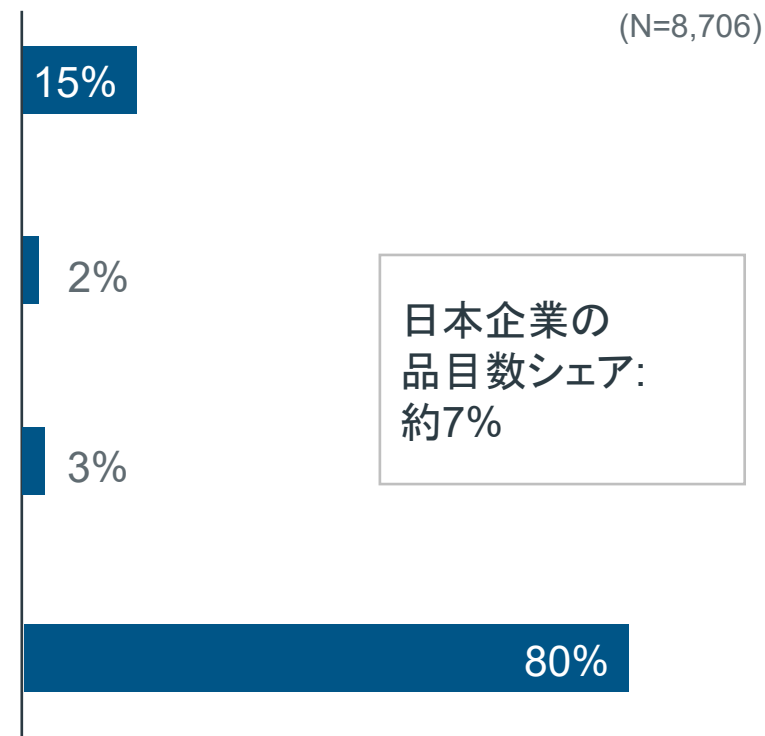
世界全体の製薬会社の分類と定義

ラージ ファーマ (25社)	売上高: 100億ドル以上
ミッドサイズ ファーマ (9社)	売上高: 50億ドル~100億ドル
スモール ファーマ (74社)	売上高: 5億ドル~50億ドル
新興バイオ ファーマ (3,212社)	売上高: ~5億ドル


世界の医薬品売上高に占めるシェア



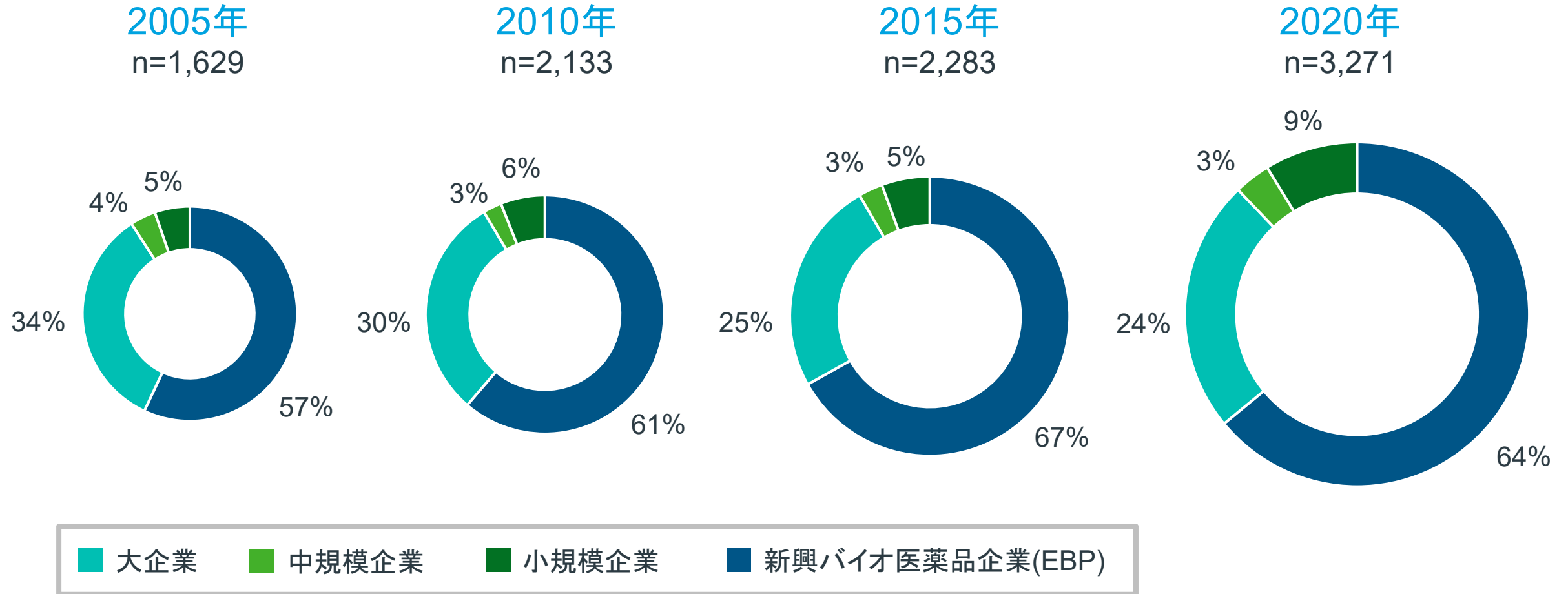
世界の開発品目数に占めるシェア



- 日本では新興バイオフーマの存在感が低い (アメリカでは新薬承認数の半分以上を新興バイオフーマの創製品が占める)
- 日本企業は低分子領域の開発品では10%近いシェアをもつが、新モダリティ領域の開発品では3%程度のシェアにとどまる

 **新興バイオ医薬品企業(EBP)は後期パイプラインにおけるシェアが非常に高く2005年の57%から2020年には64%まで拡大した**

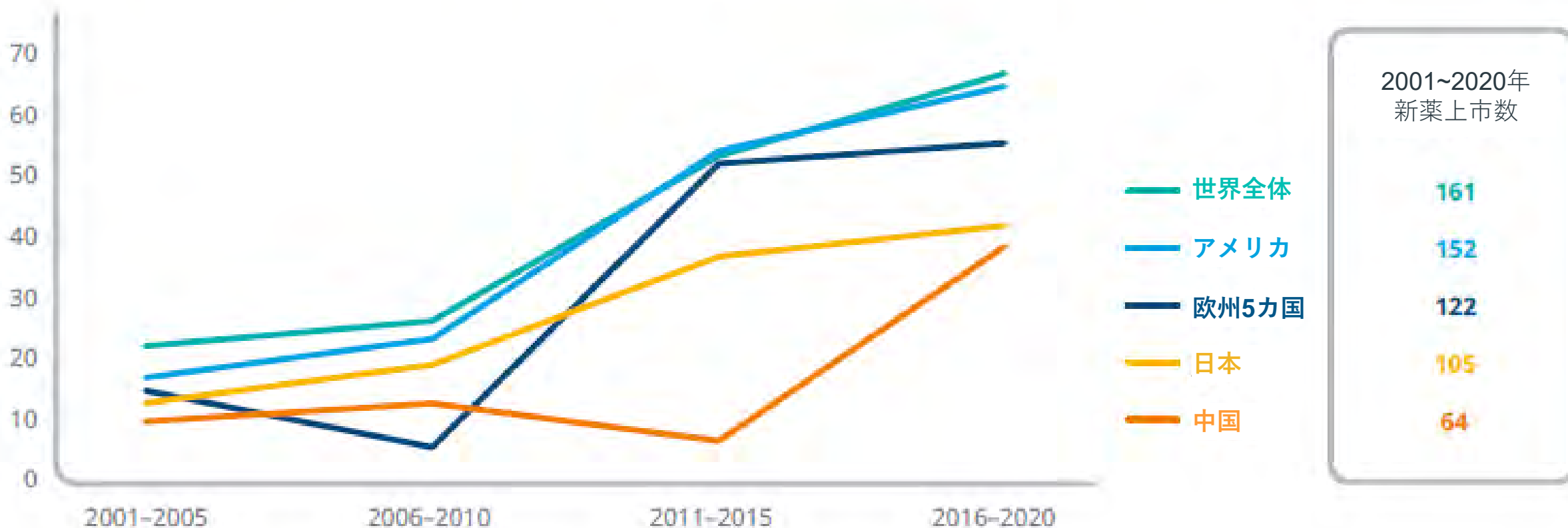
企業規模別 後期パイプラインシェア





2016~2020年の5年間で上市されたオンコロジー新薬は世界全体で64で 中国市場における新薬上市数が日本に迫る勢いを示している

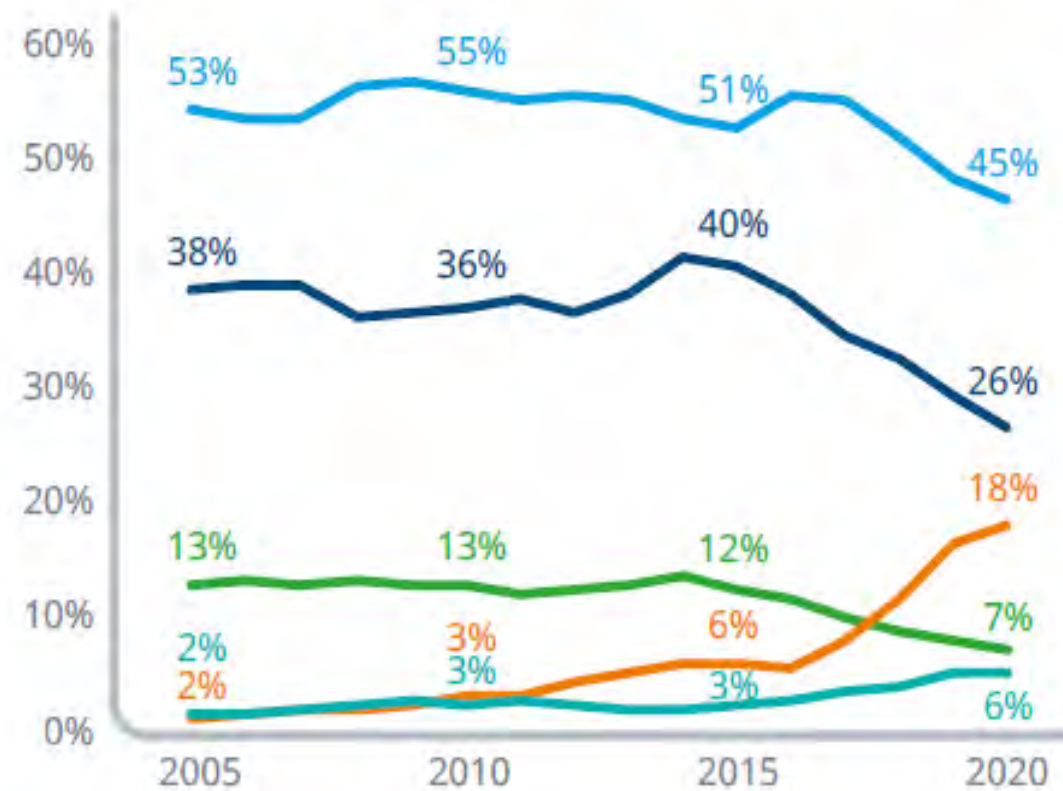
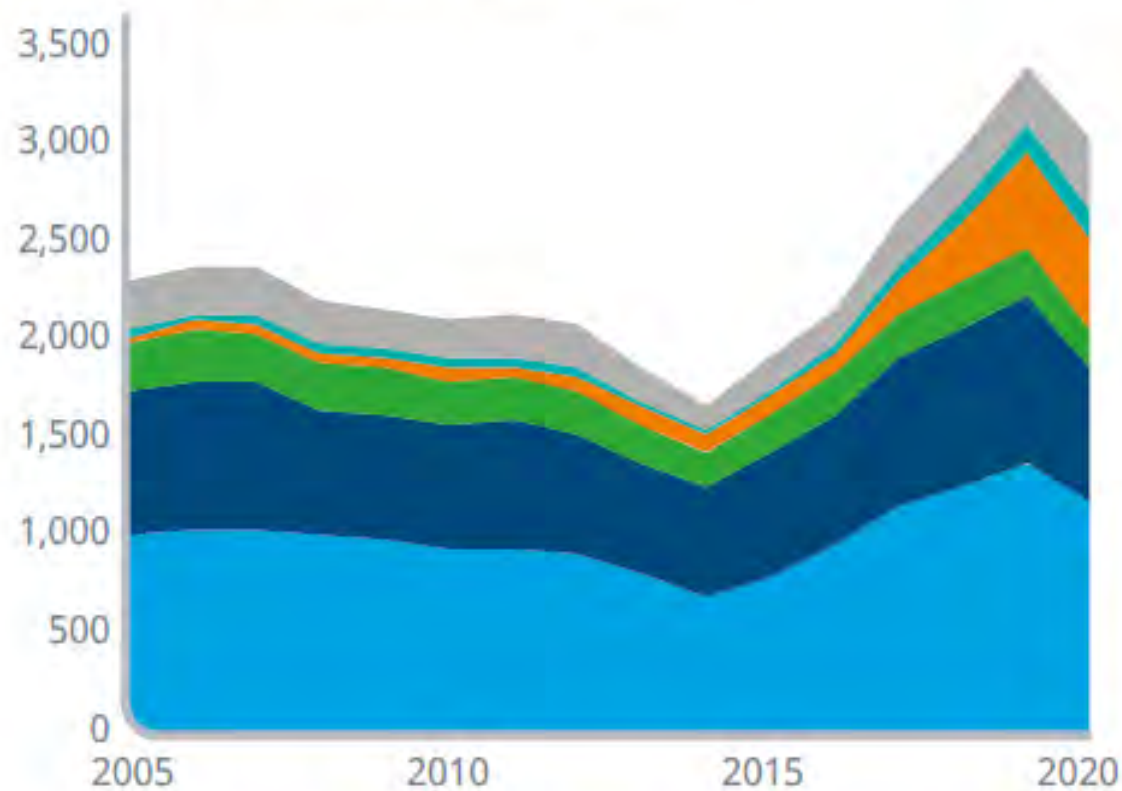
主要国におけるオンコロジー領域の新薬上市数





オンコロジー領域の開発初期段階にある新薬シェアは欧米が中心だったが直近5年で中国や韓国の勢いが増している

本社所在地別 オンコロジー新薬開発の初期パイプライン数と世界シェア推移

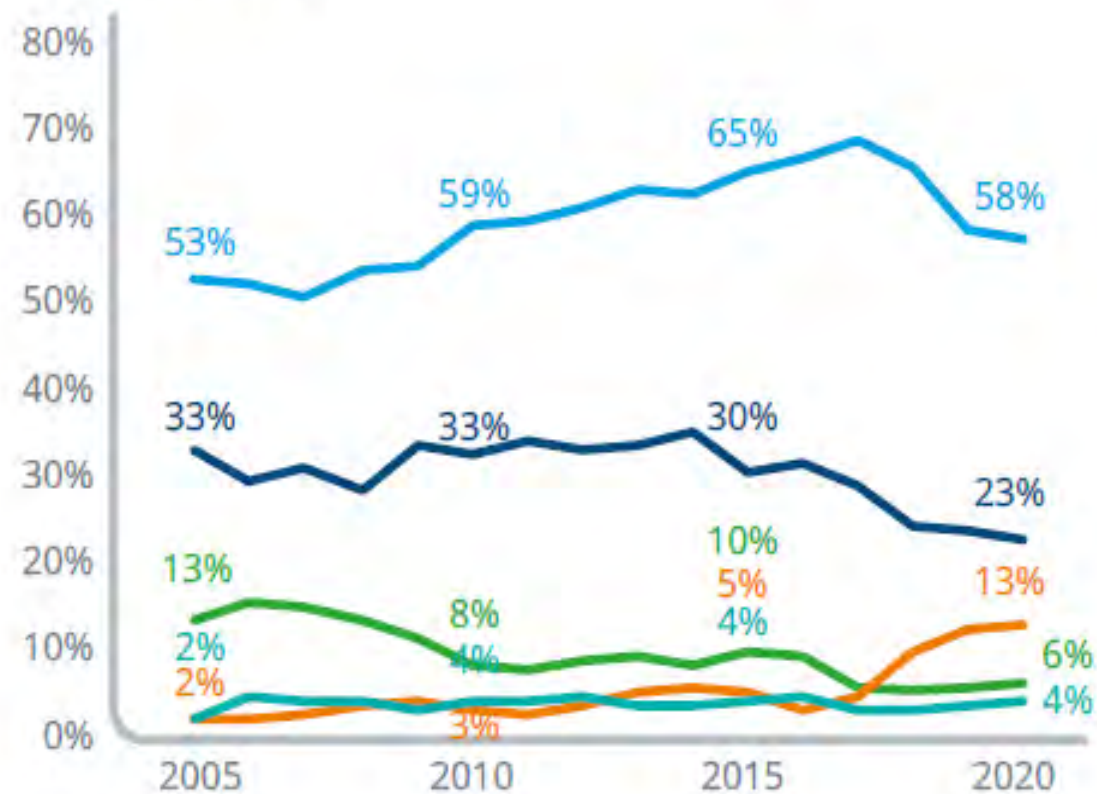
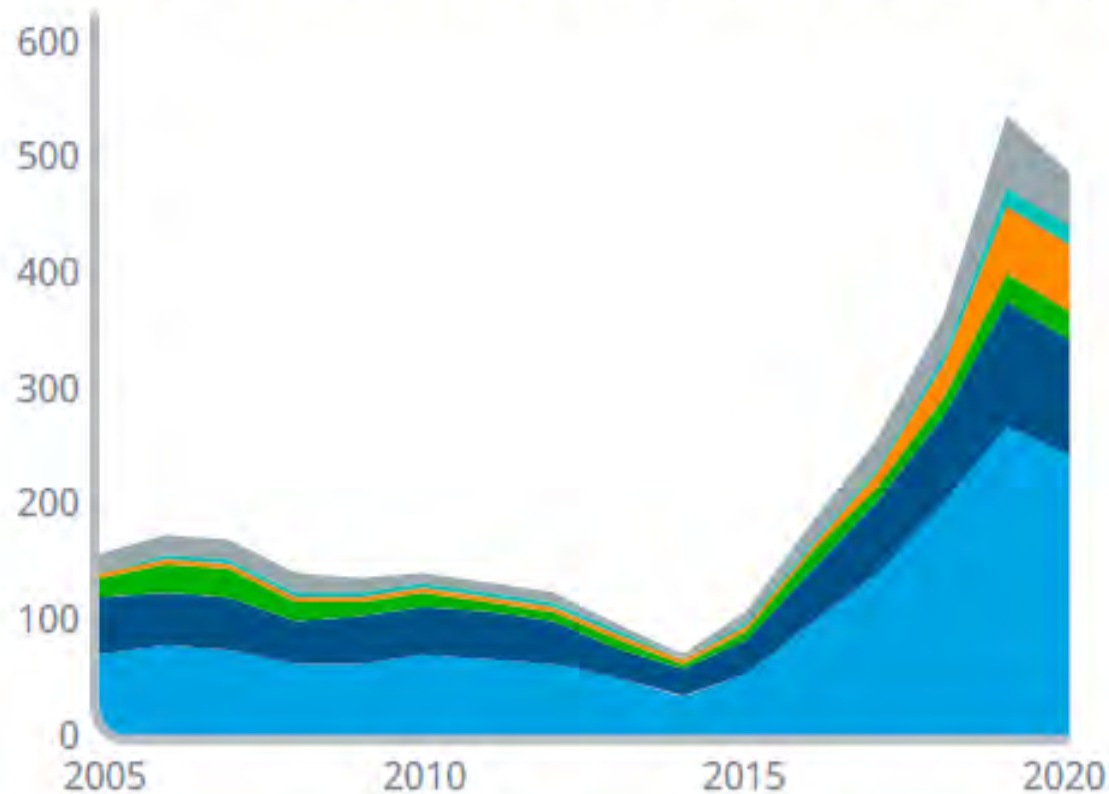


米国 欧州 日本 中国 韓国 その他



オンコロジーの次世代バイオ新薬の開発においても、中国企業の存在感は増しており、15年前の2%から13%へとシェアを拡大させている

本社所在地別 オンコロジー次世代バイオ新薬開発の初期パイプライン数と世界シェア推移

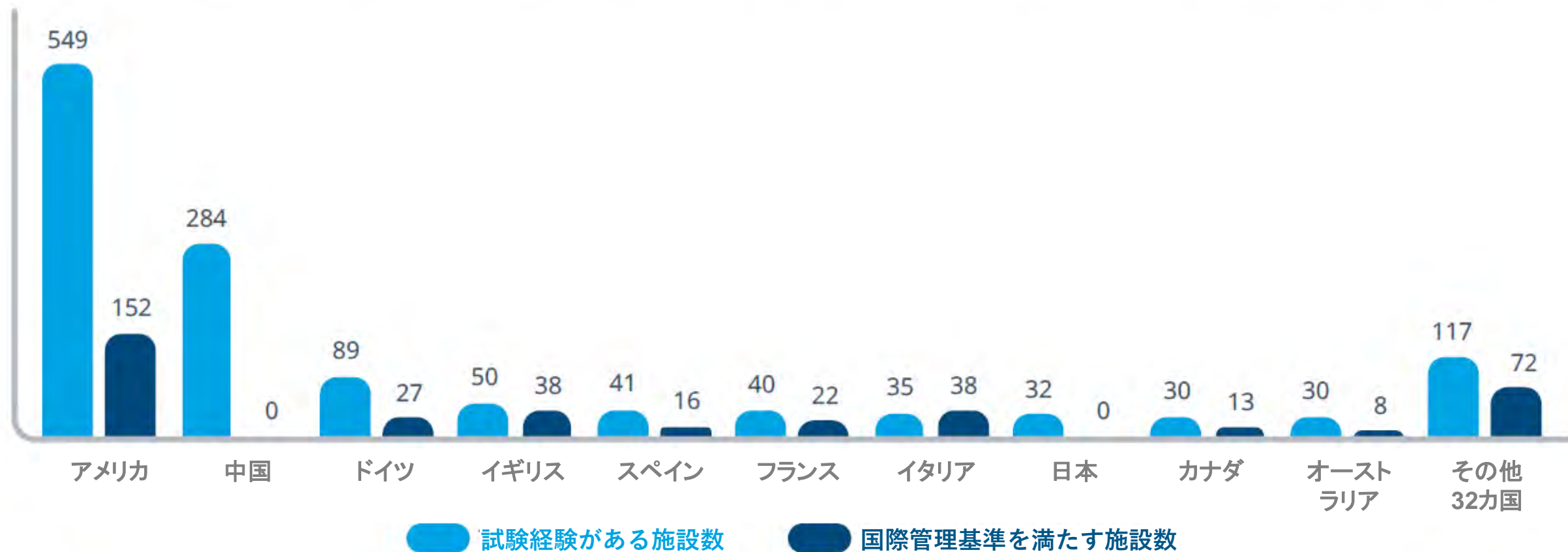


■ 米国
 ■ 欧州
 ■ 日本
 ■ 中国
 ■ 韓国
 ■ その他



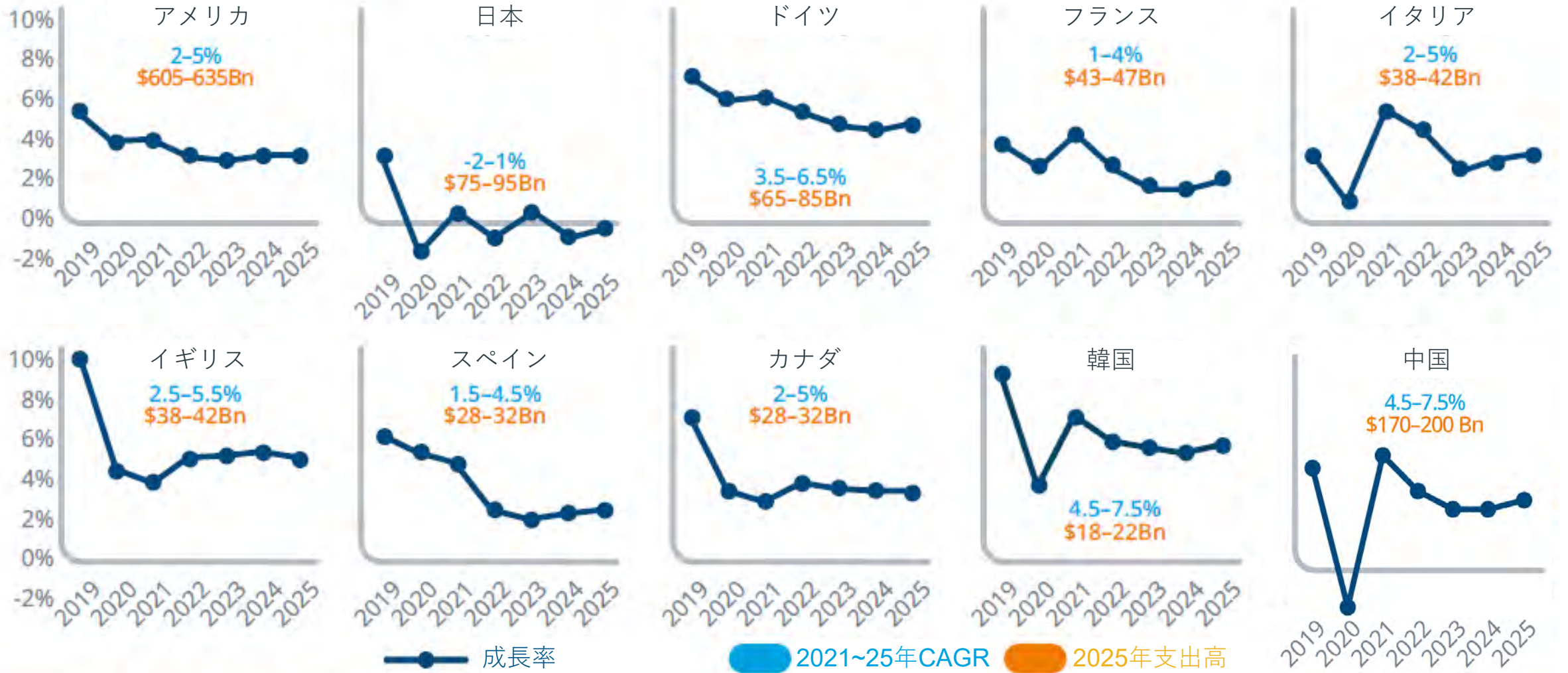
CAR-T治療の国際管理基準を満たす施設は米国を中心に現在386施設 試験経験がある施設数では日本が32施設に対し、中国は284施設

主要国におけるCAR-T治療可能な研究所及び医療施設数（2021年5月時点）



COVID-19による影響は各国により異なったが、2021年以降の市場成長率がマイナスになるのは主要国では日本のみ

2019~2025年 先進国10カ国における市場成長率予測（為替固定）





IQVIAについて

IQVIA (NYSE:IQV)は、情報や革新的テクノロジー、及び臨床試験サービスを提供する世界的なリーディングカンパニーであり、データとサイエンスを駆使して、ヘルスケアに関連するお客様が患者様により良いソリューション提供することに貢献しています。IMS HealthとQuintilesが統合することで誕生したIQVIAは、ヘルスケアの発展に寄与する医療情報、テクノロジー、分析力および人知による創意工夫を活用した幅広いソリューションをご提供しています。私たちIQVIAは、お客様が新たなアプローチで臨床開発や製品の上市・販売を実現し、自信を持ってイノベーションに取り組み、いち早く有意義なヘルスケアアウトカムを実現できるようお手伝いします。世界100カ国以上で活躍する、およそ5万5,000人の当社社員一人一人が、ヒューマン データ サイエンスの実現に尽力しています。この、ヒューマン データ サイエンスの原動力は「IQVIA CORE™」であり、ビッグデータ、革新的なテクノロジーと専門的かつ広範な知識に裏付けされた分析力とを結集した、実用的かつ唯一無二のインサイトによってこれらを可能にしているのです。

IQVIAは、患者様の個人情報の保護の分野においても世界をリードしています。ヘルスアウトカムを発展させるのに必要な情報を収集し分析する一方で、様々なプライバシー保護のための技術や安全対策に取り組んでおります。IQVIAが持つインサイトや実行力は、患者様の治療・治癒の実現を目指すバイオテクノロジー企業、医療機器メーカー、製薬企業、医学研究者、政府機関、保険者その他の医療関係者の皆様が、疾患や人間行動、サイエンスの進歩を追求するのにきっとお役に立てるものと考えております。IQVIAの詳細情報はこちらをご覧ください。www.IQVIA.com